## 令和2年度 総合的な学習の時間 全体計画

#### 生徒の実態

アクティブラーニングやプロ グラミング学習の導入で、主体 的な学習活動や表現力の高ま りが見られるようになった。地 域や社会に目を向け、課題意識 をもつ生徒も増えてきている。

### 学校教育目標

はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

#### 総合的な学習の時間の目標

地域の人、もの、ことに自らかかわり、自ら課題を探 究し、自己の学びのよさや生き方を見つめる。

#### 保護者・地域とのかかわり

PTA 役員を中心に生徒の学習 活動を後押しする機運が高ま っている。学校運営協議会の導 入で、広範囲にわたる学区や、 関係団体等の協力・連携体制が 整いつつある。



# 探究課題

"新見"の産業を支え地域活性化のために取 り組んでいる人々や組織

#### プロジェクトテーマ

地域の産業を調べることで、新たな 1年 "新見"を発見しよう。

地域の職業を体験することで、新たな 2年 "新見"を探ろう

地域の課題を見つめることで、新たな 3 年 '新見"を創造しよう。

## 育てようとする資質や能力

・地域には様々な産業や職業が存在し、私たちの生活を支えているこ とがわかる

#### 知識及び技能

- ・まちづくりを推進する人々や機関が存在し、互いに関わり合いながら 役割を果たしていることがわかる。
- ・地域を活性化するためのアイディアや具体的な取組があることがわ ・様々な問題状況の中から課題を見出し、解決の方法や手順を考

### 思考力、判断 力、表現力

- え、見通しをもって計画を立てる。 ・情報収集の手段を選択し、必要な情報を蓄積し整理・分類する。
- ・多様な情報にある特徴を見つけ、事象を比較したり関連付けたりし て課題解決に向けて考える。
- ・相手や目的に応じ分かりやすくまとめ表現する。

・探究的な活動を通し、自己を見つめるとともに異なる意見や他者の 考えを受け入れ尊重しようとする。

### 学びに向かう 力、人間性

- ・自他のよさを生かしながら、自分の意思で目標をもって課題の解決 に向けた探究に取り組もうとする。
- ・探究的な活動を通し、自己の生き方を考え夢や希望をもつとともに、 進んで実社会・地域の問題の解決に取り組むうとする。

#### キャッチフレーズ

「ふるさと再発見 新たな新見 みらいづくり」

### 学習活動 2年(70時間)

#### 【新見発見プロジェクト】20

新見の産業について調査活動や調べ学習 を行い、地域への関心を深める。

1年(50時間)

※学級単位で関連施設への訪問学習を実施 する。(例:石灰、特産品、市役所等)

#### 【選択型プロジェクト】16

新見発見プロジェクトと関連づけ、課題解 決に向けて自らできることを主体的に行う。

### 【プログラミングプロジェクト】6

選択型プロジェクトと関連づけたプログラミ ングの基礎を学ぶ。

#### 【新見体験プロジェクト】34

職業体験学習を企画・実施・評価し、地域に貢 献する態度を養う。

※生徒の希望をもとに小グループ単位で関連施 設への体験学習(3日間)を行う。

#### 【選択型プロジェクト】14

新見体験プロジェクトと関連づけ、課題解決に 向けて自らできることを主体的に行う。

### 【平和追求プロジェクト】12

広島平和学習を通して過去の歴史を振り返り、 持続可能な社会への意識を深める。

### 【キャリアアッププロジェクト】10

様々な上級学校を探ることを通して、自己の夢 や適性と進路との関係を考える。

#### 3年(70時間) 【新見貢献プロジェクト】18

自ら地域に貢献できることを企画・実施し、社会 参画に向けた実践力を養う。

(ボランティア、広報活動等)

#### 【選択型プロジェクト】18

地域の課題を探り、"新見"活性化に向けての提 言を主体的に行なう。

### 【異文化体験プロジェクト】12

修学旅行での民泊体験を通し、異なる地域文化 を学び互いの良さを探る。

#### 【キャリアアッププロジェクト】22

自己との対話や他者理解を通して進路との関係 を具体化し、将来の自分を創造する。

【キャリアアッププロジェクト】8 様々な職業を探ることを通して、自己の夢 や適性と進路との関係を考える。

# 指導方法

- ・生徒の課題意識を連続発展させる支援
- ・意図的に編成したチームでの協働的な 学習を充実させる

を行う

・体験活動や言語活動を重視し、ICT を 効果的に利活用させる。

### 指導体制

- ・学年団を中心とした指導体制を組織する。
- 校内担当者と学校運営協議会とが連絡を取 り合い、外部組織との連絡調整と支援体制を 確立する。
- 新見みらいづくり会議実行委員会やロータリ ークラブ、官公庁などの外部組織の人材を 有効活用する。

### 学習評価

- ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
- 自己評価、相互評価を行う。

### 評価の観点

- 課題設定の力
- 情報収集の力
- 将来展望の力
- 社会参画の力

# 総合的な学習の時間 プロジェクト学習の進め方

~共通の目的の達成に向けた協同学習チームによる活動~

## 〇プロジェクト学習の目的

- ①調査活動(昨年の研究結果)、体験活動、制作活動を中心に学習を進める。
- ②企画・運営・評価を主体的、協同的に進める。
- ③目的意識や問題意識に関わる自分の思いを実現する。
- ④社会活動によって作品や研究報告書を活かす実践活動をする。
- ⑤汎用的能力を、体験を通して身につける。
- ⑥R-PDCA サイクルに沿って活動を積み上げる。

### ○学習の流れ

0.1.1.000000					
全学年共通 選択型プロジェクト (原則4名でチームを編成)					
主体的な学び	協同的な学び	深い学び			
課題決定に意見を出す	課題を協働で決める	視点を工夫する			
先行研究の調査、簡単な調査	この調査、簡単な調査、学習課題の決定を行い、自分たちの学習でどのような				
学びをすればよいのかについて大きな見通しをもつ。					
具体的な目標決定	協力して計画を立てる	計画書を作る			
インターネットでなどを活用(または体験や訪問など)して簡単な調査を行い、学習					
したいことを、ウェブマップ	したいことを、ウェブマップマップを使って書き出す。そして、目標をチームで共有				
化する。(活動の展開によっては目標を修正していく)					
積極的に活動に取り組む	協同で課題を解決する	アイデアを表現する			
調査研究、実践交流、体験活動を行い、プレゼンテーション資料を作成する。					
(インタビュー、アンケ	ート、写真、動画など資料の	)収集)			
プロジェクト評価(自己)	相互評価(成果と課題)	評価レポートの作成			
自己評価、相互評価、プロジェクト評価を行う。(ポートフォリオ形式で保存)					
プロジェクトそのものを振り返り成果と課題にまとめる。					
改善案を作成	分担して報告書の作成	今後の課題を見いだす			
改善案の作成・実行、学習の振り返りを行い、実施段階でうまくいかなかった活動の					
改善案を作成し、次年度につなげる。					
	主体的な学び 課題決定に意見を出す 先行研究の調査、簡単な調査学びをすればよいのかについ 具体的な目標決定 インターネットでなどを活したいことを、ウェブマップ化する。(活動の展開によってする。(活動に取り組む調査研究、実践交流、体験が(インタビュー、アンケプロジェクト評価(自己)自己評価、相互評価、プロジェクトそのものを振改善案を作成 改善案の作成・実行、学習の	主体的な学び 課題を協働で決める 先行研究の調査、簡単な調査、学習課題の決定を行い、自 学びをすればよいのかについて大きな見通しをもつ。 具体的な目標決定 協力して計画を立てる インターネットでなどを活用(または体験や訪問など)ししたいことを、ウェブマップマップを使って書き出す。それする。(活動の展開によっては目標を修正していく) 積極的に活動に取り組む 協同で課題を解決する 調査研究、実践交流、体験活動を行い、プレゼンテーシ(インタビュー、アンケート、写真、動画など資料のプロジェクト評価(自己) 相互評価(成果と課題) 自己評価、相互評価、プロジェクト評価を行う。(ポートプロジェクトそのものを振り返り成果と課題にまとめる改善案を作成 分担して報告書の作成 改善案の作成・実行、学習の振り返りを行い、実施段階で			

### ○必修型プロジェクト学習(短期活動)

・新見発見プロジェクト~調査活動を通して新見の産業を知ろう~	1年
・新見体験プロジェクト~職業体験を通して新見を探ろう~	2年
・平和追求プロジェクト~平和学習を通して持続可能な社会を考えよう~	2年
・新見貢献プロジェクト~自ら地域に貢献できることを実践しよう~	3年
・異文化体験プロジェクト〜異なる地域文化の良さを探ろう〜	3年
・プログラミングプロジェクト~課題解決に向けて活かそう~	全学年
・キャリアアッププロジェクト~将来の自分を創造しよう~	全学年

# 令和2年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第1学年

テー	-マ	// **			
	時数	新見発見 プロジェクト(20)	選択型 プロジェクト(16)	プログラミング プロジェクト(6)	キャリアアップ プロジェクト(8)
4月	1 2			①オリエンテーショ	
5月	3			ン②基礎講座	
	4 5				
	6 7	①オリエンテーショ			
6月	8	ン ②産業とは			
	9 10	③産業と働く人 ④情報収集			
	11 12	<b>世間報収</b> 業	プログラミン	グ学習の進め方	
	13	5調査活動	基礎講座を行	った後は、各プロジェ で必要に応じて実践的	
	14 15	(地域訪問学習)	l II	指導は情報教育担当者	
	16 17			X,12,7 0 0	
7月	18	⑥整理·分析			
	19 20				
9月	21 22	⑦まとめ			
	23	8表現			
10月	24 25				
	26 27		①オリエンテーション ②課題設定・チーム編/	<del>d</del>	
	28		③計画立案		
	29 30		CITIES TO		
	31 32		④情報収集	③実践講座	
11月	33 34		<b>⑤調査活動</b>		
	35		⑥整理・分析		
	36 37				
12月	38 39		⑦まとめ		
/,	40				
1月	41 42				
	43 44		⑨成果発表会		
	45				
2月	46 47				①自己の夢・適性 ②進路設計
	48 49				
	50				

# 令和2年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第2学年

テー	デーマ ぶるさと新見"を探り活性化につなげよう ~体験活動を通し新見の産業を探る~				
	時数	新見体験 プロジェクト(34)	選択型 プロジェクト(14)	平和追求 プロジェクト(12)	キャリアアップ プロジェクト(10)
4月	1 2 3 4	<ul><li>①オリエンテーション</li><li>②課題設定・チーム編</li><li>③計画立案</li></ul>			
5月	5 6 7		④情報収集		
	8 9 10 11 12 13 14 15			①事前調査 ②課題設定 ③体験学習 (広島平和学習)	
6月	16 17 18 19 20 21 22 23		⑤調査活動 ⑥整理・分析	④まとめ ⑤振り返り	
7月	24 25 26 27 28		ØE-75 77 W		
9月	29 30 31 32 33	①働く意義とは ②自己の適性			
10月	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	③地域の職業 ④体験準備 ⑤職業体験 (2日間)			
	50 51 52 53	<b>⑥</b> まとめ			
11月	56 57 58 59 60 61		⑦まとめ ⑧表現 ⑨成果発表会		
2月	62 63 64 65 66 67 68 69				①自己を見つめる ②将来を見つめる ③進路情報の収集 ④まとめ
3月	70				

# 令和2年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第3学年

テー	-マ	″ふるさと新見″を探り活性化につなげよう 〜地域の課題を探り活性化のための提言をする〜			
	時数	新見貢献 プロジェクト(16)	選択型 プロジェクト(18)	異文化体験 プロジェクト(12)	キャリアアップ プロジェクト(18)
5月	1 2 3 4 5 6 7 8		①オリエンテー ション ②課題設定・チー ム編成 ③計画立案		
6月	9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23		<ul><li>④情報収集</li><li>⑤調査活動</li><li>⑥整理・分析</li><li>⑦まとめ</li><li>⑨成果発表会</li></ul>		
7月	24 25 26 27 28 29 30				
8月 9月	31 32 33 34 35			①事前調査 ②課題設定	
10月	36 37 38 39 40 41 42 43			③民泊体験学習 (修学旅行) ④まとめ	
11月	44 45 46 47 48 49 50 51	①社会貢献活動とは ②自分たちにできる こと ③計画 ④準備		⑤振り返り	<ul><li>①自己をみつめる</li><li>②他者をみつめる</li><li>③将来を見つめる</li></ul>
12月	52 53 54 55 56	⑤地域貢献活動 ⑥まとめ ⑦振り返り			<ul><li>④キャリアアップ</li><li>講座</li></ul>
1月	57 58 59 60 61 62				
2月	63 64 65 66 67 68 69				
3月	70				